

デیلیー・ジーザス・ニュース #169

群衆は再びイエスをめぐって分裂する
ヨハネ10.19-21

19 これらの言葉を聞いたユダヤ人たちは、また分裂した。20 彼らの多くは、「彼は悪霊に取りつかれて気が狂っている。どうして彼の言うことを聞くだろうか」と言っていた。

21 しかし、ほかの人たちは言った。「これは悪霊にとりつかれた人の言うことではない。悪霊が盲人の目を開けることができるだろうか。」

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マルク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの街路
タイムライン	9月（31月）
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教
	5. 仮庵でのイエスの最後の教え：「私は門であり、良い羊飼いです」
タイトル	v. 群衆は再びイエスをめぐって分裂する

コメント：

今日の聖書の箇所は、9月の仮庵の祭りの最後の2日間（ヨハネ7:12-10:22）にわたるイエスの宣教活動を終えたことを示しています。

ヨハネは仮庵の祭りにおけるイエスの宣教活動の記述を、イエスが群衆の中に引き起こした分裂を改めて示す言葉で締めくくっています。その1年前、12使徒を訓練し、ガリラヤへの3度目の巡礼に送り出す前に、イエスはこう言われました。

「わたしが地上に平和をもたらすために来たと思ってはならない。わたしは平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのである。わたしが来たのは、人を父に、娘を母に、嫁を姑に敵対させるためにである。人の敵はその家の者となる。」 マタイ10:34-36

デイリー・ジーザス・ニュース #169

イエスは、ご自身について絶対的な主張をし、すべての人に従順で愛に満ちた態度で自分を信じるようにと普遍的に命じることによって、世界に分裂をもたらすために来られました。イエスの愛は私たちを決して見捨てません。イエスは人々に、ご自身に応答するよう強いるのです。中立は選択肢ではありません。

対照的に、イエスは三位一体の関係を特徴づける愛、一致、平和を、ご自身を信じる人々にもたらすために来られました。一つの群れ、一人の善き羊飼い。

個々のキリスト教徒が父、子、聖霊との愛と一致を持つことは、すべての信者の間に同じ愛と一致を生み出すことを目指しています。ヨハネは、善き羊飼いが自身の群れに平和と一致をもたらす一方で、世界に分裂をもたらすという点を対比させ、この点を強調しました。

イエスはその後、エルサレムを出発し、二人ずつの弟子35組を巡回伝道に派遣し、ユダヤの村々、そしてペレアの村々を6ヶ月かけて巡回します。福音宣教を続ける一方で、イエスは弟子訓練に一層力を入れます。これは、来春の天への旅立ちに備えて、弟子たちを訓練する最後の数ヶ月となります。

応用：

世界の分裂と群れの一致。それがイエスの計画であり、情熱でした。イエスはそれを実現するために命を捧げられました。

世界を特徴づける分裂が、善き羊飼いの群れにも引き裂かれるのは悲劇です。信者間の一致は贅沢なものではなく、世界への宣教の唯一の確かな基盤です。だからこそイエスはこう祈りました。

「父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にいるように、彼らも皆一つになりますように。彼らも私たちの中にいますように。そうすれば、世はあなたが私をお遣わしになったことを信じるようになります。(ヨハネ17:20-21) 私は彼らの中におり、あなたは私の中におられます。彼らが完全に一つになりますように。そうすれば、世はあなたが私をお遣わしになり、私を愛されたように彼らをも愛されたことを知るようになります。」 (17:23)

あなたはキリストの体の一致のためにどのように祈り、どのように生きますか？